

都道府県別賞一等

万が一のためのパートナー

宮城県 気仙沼市立松岩中学校 二学年

佐藤 里桜

私の家族はキャンプが大好きです。年に何回もキャンプ場に行き、薪をくべ、飯ごうでご飯をたいて食事をし、夜はテントでランプをして楽しく過ごします。そんな家族の皆でキャンプ用品を購入しようとアウトドアショップに行つたときのことです。父が「こっち、こっち」と、私たちを集めました。父が指さす先には「アウトドア保険」と書かれたパンフレットがありました。中身を確認すると、死亡保険金・後遺障害保険金・入院保険金・手術保険金など、聞き慣れない言葉が載っていました。父は

「万が一があるからね。」

と、数種類のパンフレットを持ち帰りました。

自動車に乗って帰る途中で、私は保険について父に話しかけました。

「パパ、二泊三日のキャンプなのに保険をかける必要があるの？」

父は

「キャンプ中に海で泳いで、楽しく遊んだよね。その一方で、もしかしたらケガをしたり、誰かをケガさせたりすることもあるし、重大な事故につながるのだってあるかもしれないじゃないか。だから、万が一のことを考えないと……。それにもっともっと先のことまで考えないといけないから……。」

「先のことって何？」

そう聞いた私に、父は姉の将来の夢について話し始めました。

「おねえちゃんは大学に進学してから教師になることが夢だよ。その夢を実現するためには大学での学費や一人暮らしをする生活費がこれから必要だよ。でも、もしもキャンプ中にパパが事故にあい、働けなくなったらそのお金が準備できなくなるよね。」

その話を聞いて、私は父や姉が以前ケガをして入院や通院を何カ月も続けたことを思い出し、とても不安になりました。一方で保険に加入していたことで治療費などが助かったことを思い出し、ほっとすると同時に、万が一のために日頃から備えておくことを忘れない父にとっても感心しました。今まで黙って聞いていた母が

「パパもママもあなたたちも生命保険に入っているんだよ。」

と話し、私にとっては思いがけない話を続けました。

「パパは結婚するときに、自分にかけている生命保険やママにかけていた医療保

## 第59回中学生作文コンクール

険について説明してくれたんだよ。」

プロポーズと同時に生命保険の話をするなんてと私も姉もとても驚きました。父は

「結婚って、一生のパートナーを決めることだよ。だから、一緒に生きていく人生の中でパートナーが困らないように方が一に備えての計画を立て、ママに安心してもらったんだ。」

その言葉を聞いて、父は母と同じように保険も一生のパートナーとしてしっかりと考えて決めたことをとてもすごいと思いました。その後、父と母は保険の中身について説明してくれました。父はもしも亡くなったときに残された家族が困らないようにと生命保険の保障に重点を置き、母は病気や事故で入院したときに十分な医療を受けられるようにと医療保険を手厚くしていることがわかりました。

私たちにもわかりやすく話してくれる両親の様子から、私は日頃から家族の中で保険の仕組みや将来の家族の計画について話題にすることの大切さを学びました。家族の皆の夢を実現するためにはお金などの経済的な面もふくめて家族全員の協力と実現に向けての計画を立てることが必要となります。また、何かの不幸な事故で計画通りに進まないときのための保険について、家族で調べ、話し合って、将来の夢の実現に近づけるような保険を選ぶことが大切です。

私にとっての家族はとても大切な宝です。その家族の幸せな日常を続けることのために保険というパートナー選びをしっかりとすることが大切であることに気付きました。私も自分自身の夢を見つけ、実現するために保険について学び、パートナーとして一緒にこれからの人生を歩んでいきたいと思っています。